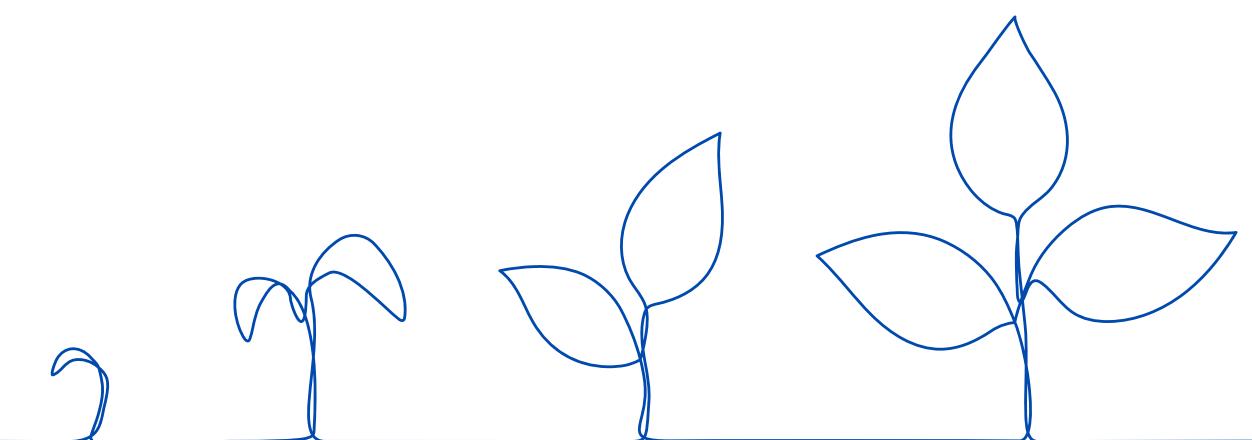




スイングトレード

基礎学習講座

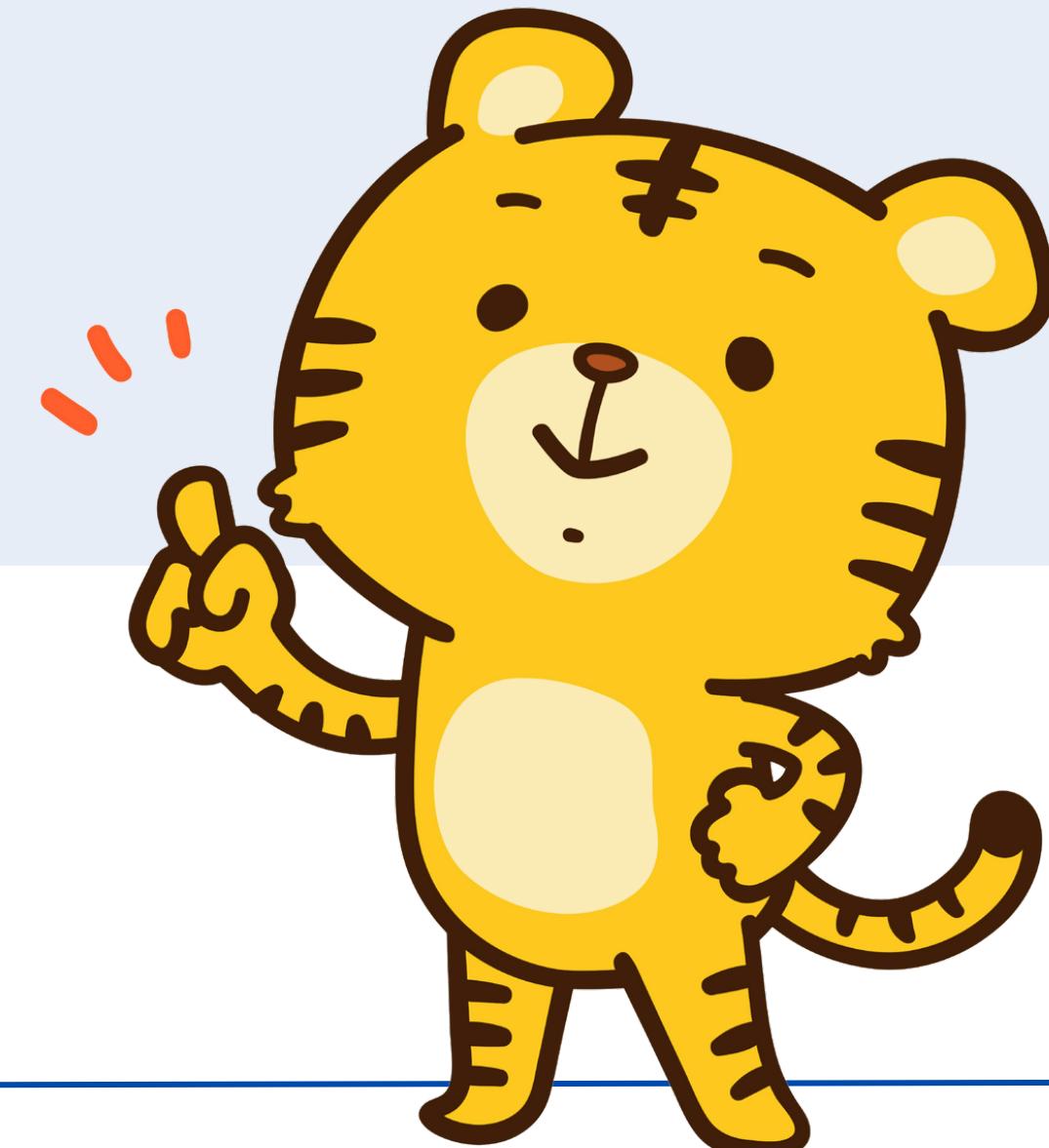




スイングトレードとは

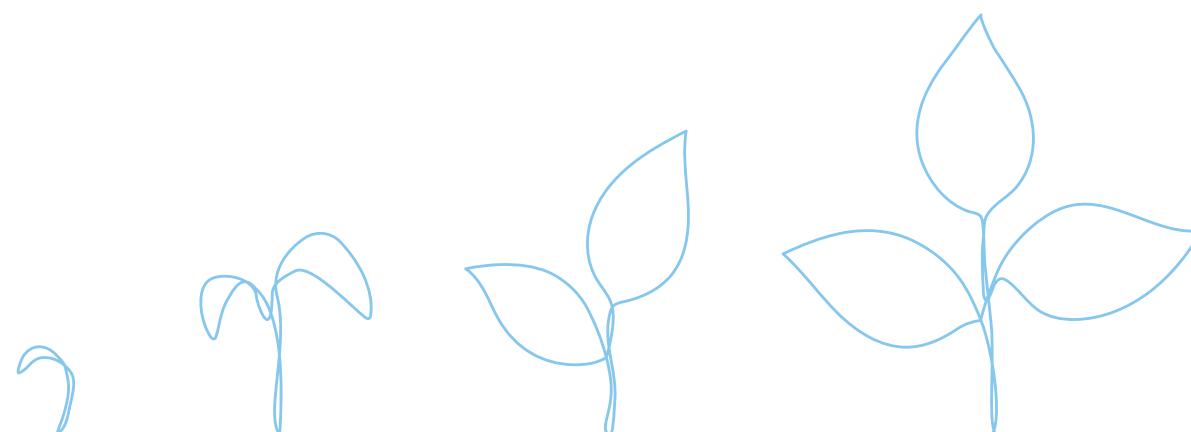
数日から数週間程度ポジションを保有し、中期的な値動きを狙っていくトレード手法です。1日に何度もエントリー・決済を繰り返すのではなく、トレンドの波(スイング)を捉えて1回のトレードで大きな値幅を狙うのが特徴です。

時間的余裕がある反面、持ち越しリスクやメンタル管理も問われる、バランス型の中長期スタイルです。





メリット





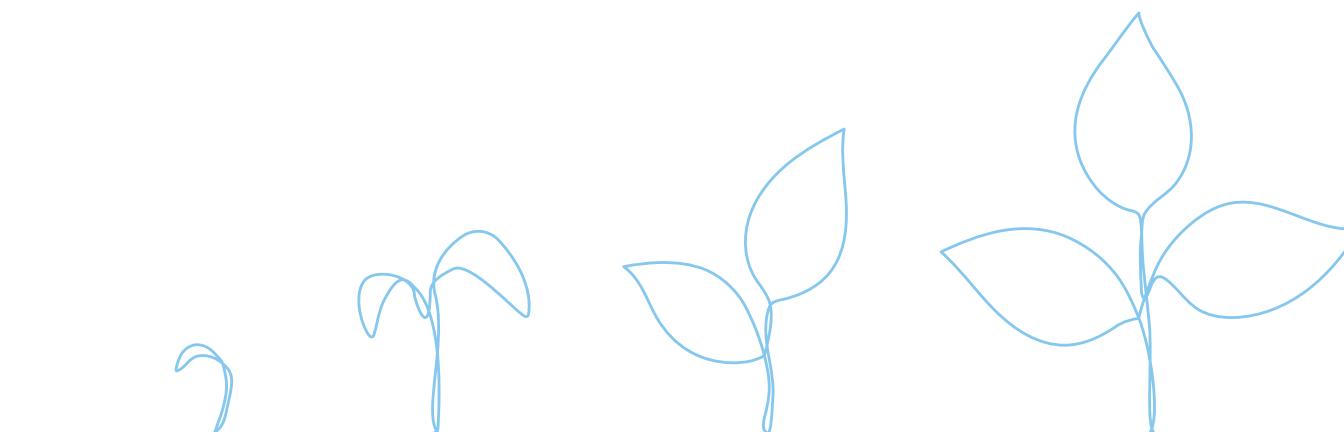
スイングトレードのメリット

相場に張り付かなくてよい

1日に何度もチャートを見る必要がなく、時間効率がよい

大きな値幅を狙える

数十pips～数百pipsの利益も狙えるため、トレード回数が少なくても収益を上げられる





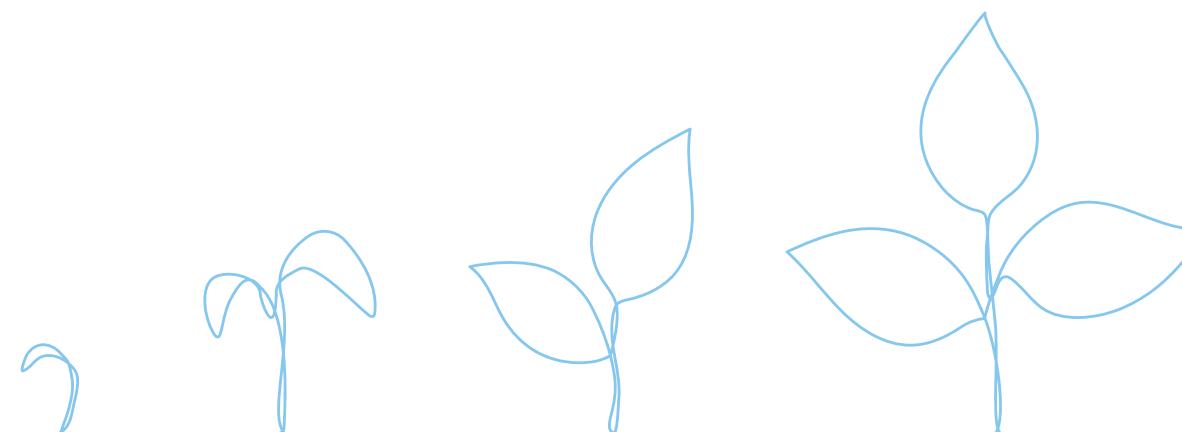
スイングトレードのメリット

ファンダメンタルズも活用可能

金利・経済指標などの中期的な材料もトレードに活かせる

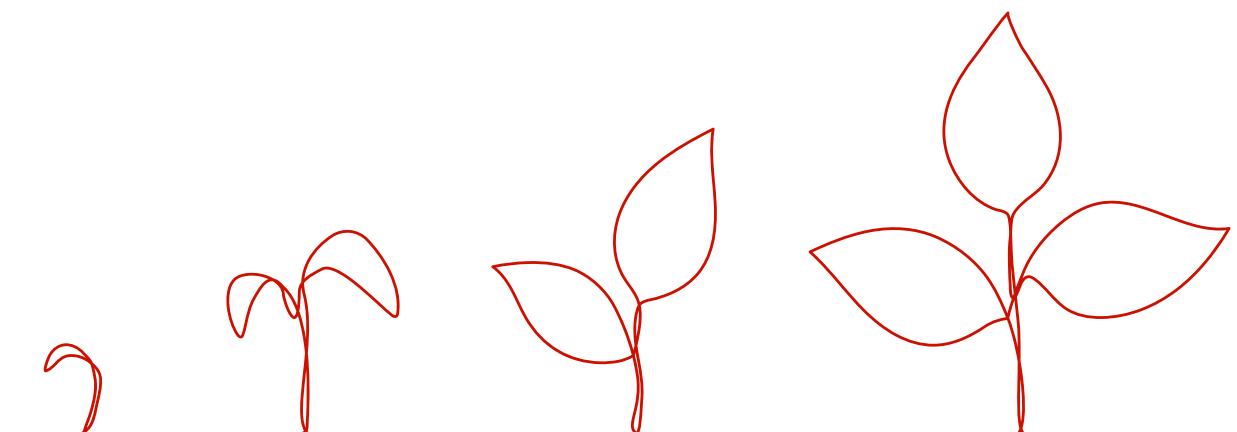
スプレッドの影響が少ない

エントリー回数が少なく、1回あたりの利益幅が大きいので、コスト負担が軽い





デメリット





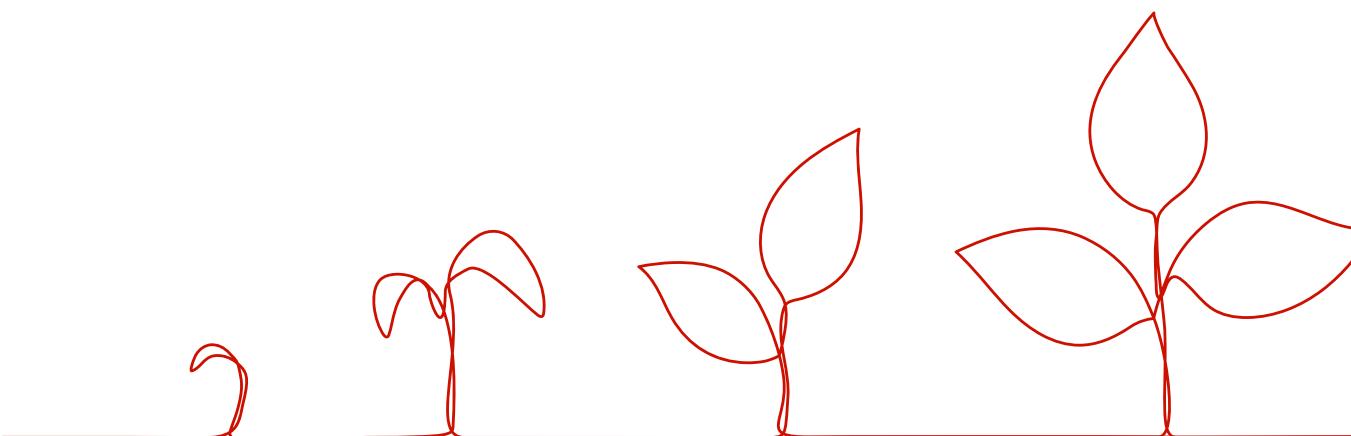
スイングトレードのデメリット

損切り幅が広くなることが多い

大きなトレンドに乗るため、損切りも大きめに設定する必要がある

含み損に耐える局面も多い

長期保有中に一時的に含み損を抱えることがあり、メンタル管理が求められる。





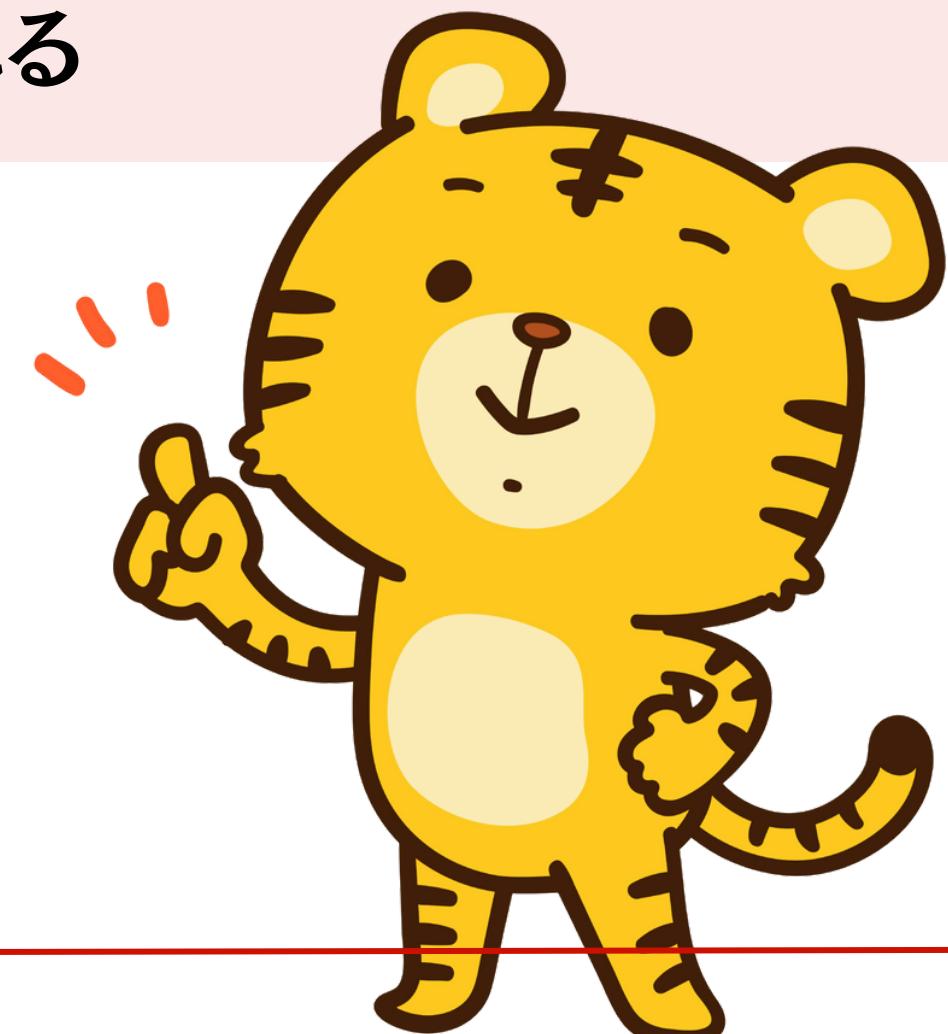
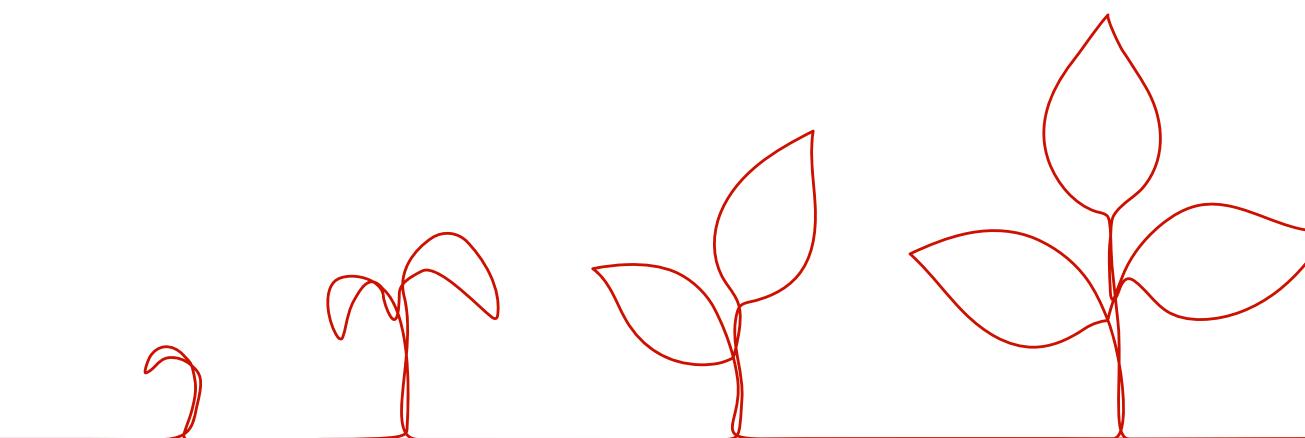
スイングトレードのデメリット

ポジション管理が複雑

複数ポジションを持つと、資金管理や週またぎのリスク判断が難しくなる

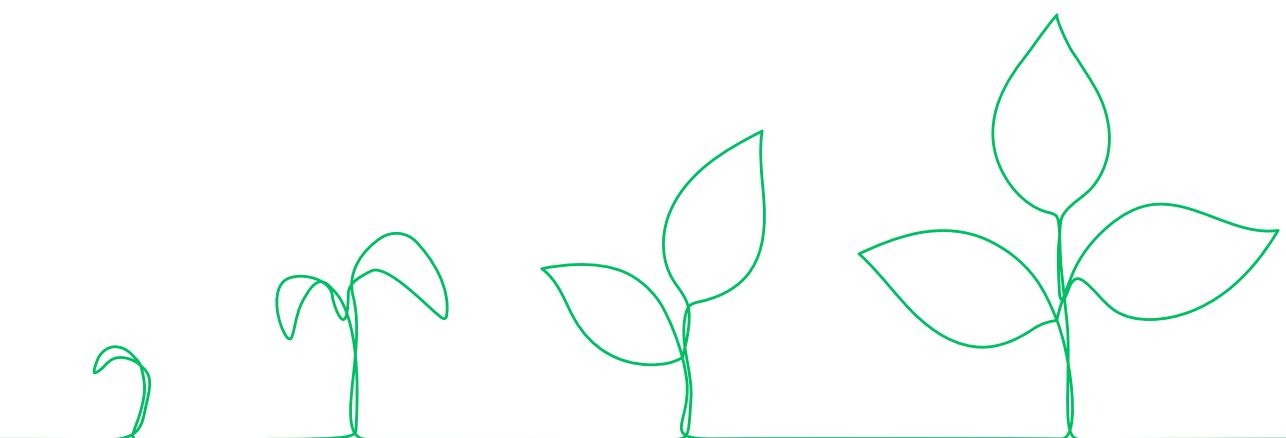
環境認識の精度が重要

「大きな流れを見誤ると致命的」になりやすく、分析力が問われる





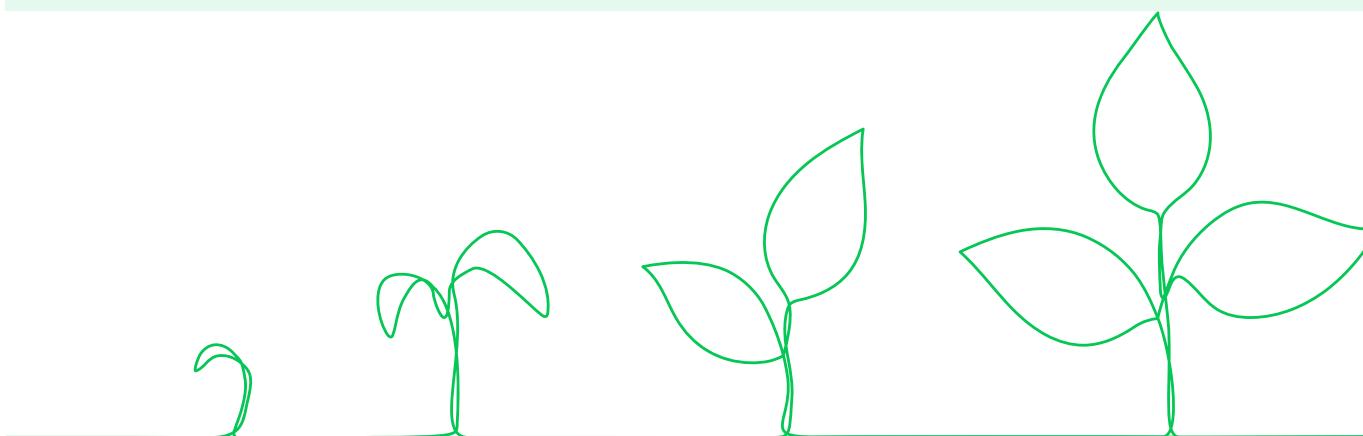
向いている人





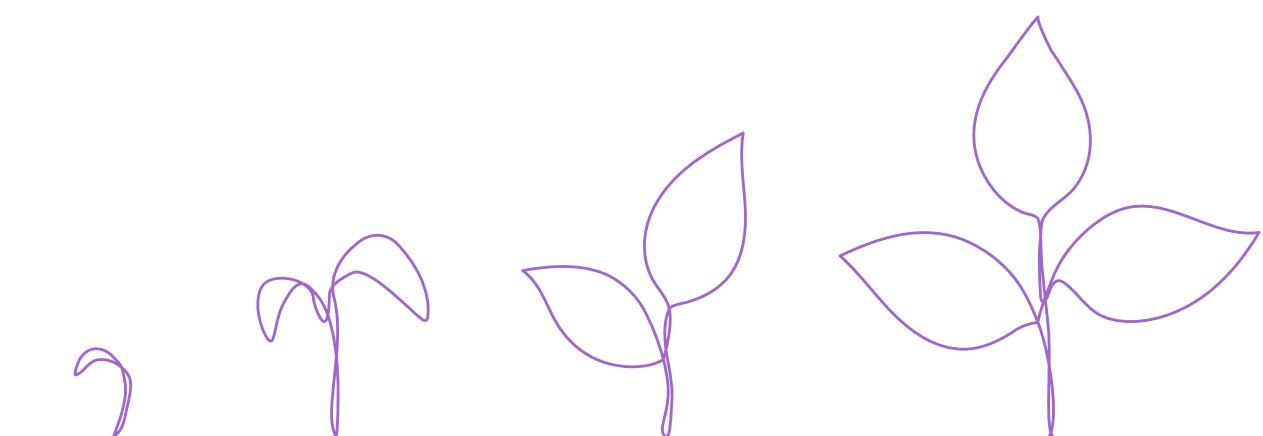
向いている人

- ・日中チャートを見る時間が取れない人
- ・中長期的な視点で戦略を立てるのが得意な人
- ・含み益・含み損に対して冷静に対応できる人
- ・トレードチャンスを「待つ」ことにストレスを感じない人
- ・ファンダメンタルズ(経済指標・政策など)も活かしたい人





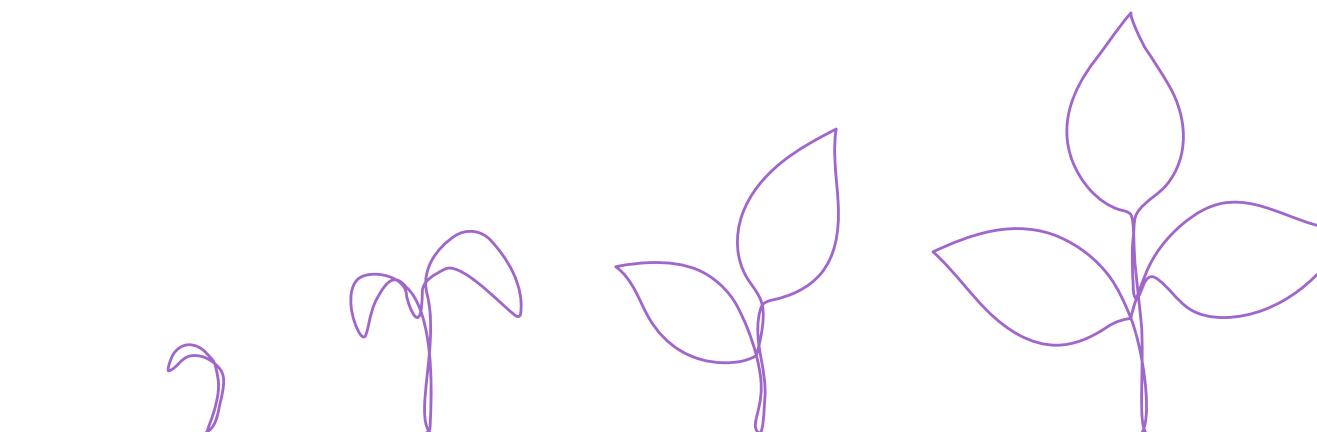
向いていない人





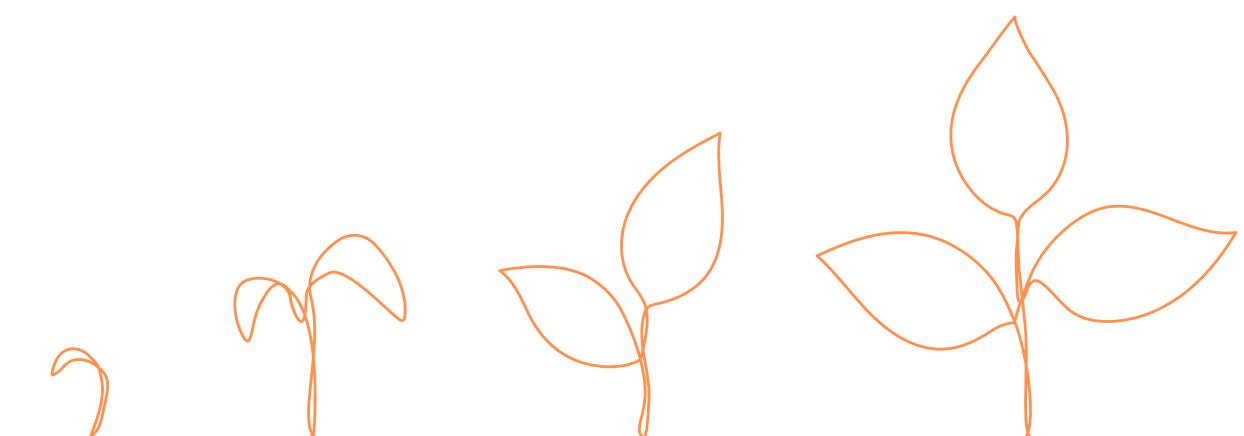
向いていない人

- ・すぐに結果を出したい、短期志向の強い人
- ・含み損を抱えると不安になり、すぐに決済したくなる人
- ・相場の変動に対して我慢ができず、ポジションを触ってしまう人
- ・ポジションを長く保有することに心理的な抵抗がある人





成功するためには何が必要なこと





成功するために必要なこと

マルチタイムフレーム分析による環境認識

- ・週足・日足で大局を判断し、4時間足や1時間足でタイミングを測る
- ・トレンド方向、サポート・レジスタンス、ローソク足の形状などを多角的にチェック

損切りと利確の明確な基準

- ・「どこまで許容するか」「どこで手を引くか」の事前設定が必須
- ・利益確定の目標(リスクリワード比1:2以上など)を明確にし、“伸ばす”勇気と“逃げる”判断力を両立させる





成功するために必要なこと

適切な資金管理

- ・数日間ポジションを持つため、想定外の急変動への耐性が必要
- ・ポジションサイズの設定を間違えると、想定外の損失に直結

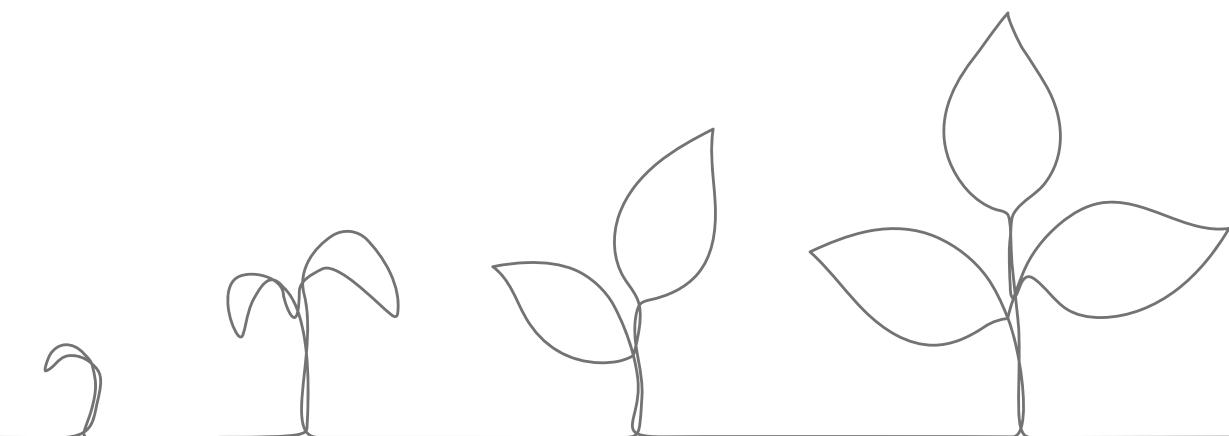
定期的な振り返り・検証

- ・スキャルやデイトレよりもトレード回数が少ない分、1回1回の質が重要
- ・過去のスイングトレードをチャートと合わせて検証し、再現性の高いパターンを蓄積





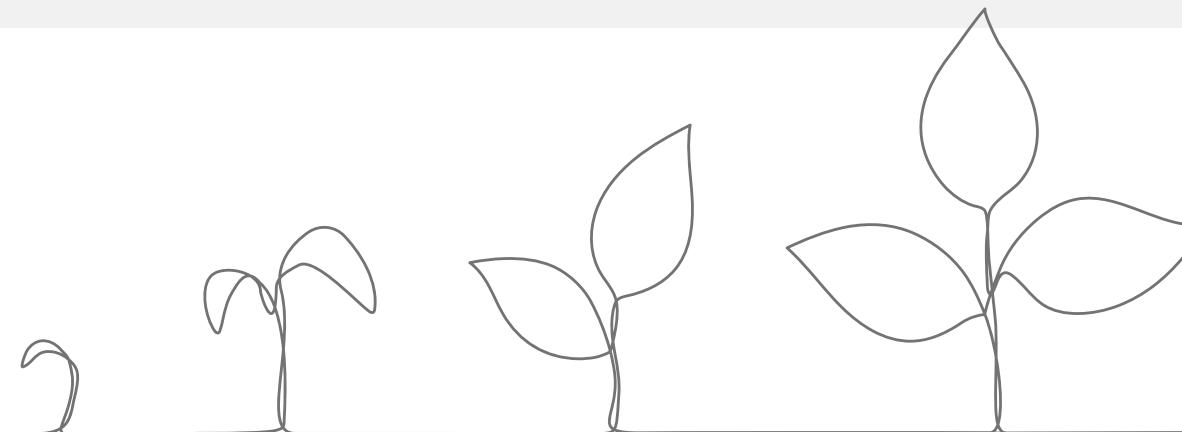
まとめ





まとめ

- ・スイングトレードは、数日～数週間かけてトレンドを捉える中期的なスタイル
- ・相場に張り付かず、ライフスタイルに合わせやすい反面、含み損や長期保有へのメンタル対応が必要
- ・成功のカギは、環境認識・資金管理・明確なルール設定
- ・忙しい社会人や兼業トレーダーにも適しており、長く安定して取り組める手法



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!